

質 疑 回 答 第 4 号
平成 27 年 12 月 18 日

藤井幹裕委員からの資料要求に対する回答

要求書受領日	平成 27 年 12 月 9 日
資料要求回答日	平成 27 年 12 月 18 日

庁舎・交通体系対策室

1. 嘉麻市人口ビジョン

※将来人口の推計と分析

新庁舎の規模算定に係る計画人口については、平成32年4月に新庁舎が供用開始となることから、下記数値を計画最少人口とします。

【平成32年度の計画人口】

国立社会保障・人口問題研究所・・・36,764人

(参考：人口推計)

◆日本の地域別将来人口（平成25年3月推計 国立社会保障・人口問題研究所）

2015（H27）・・・・・・・・・・39,518人（H27.3 住基実数 41,006人）

2020（H32）・・・・・・・・・・36,764人

2025（H37）・・・・・・・・・・33,988人

2030（H42）・・・・・・・・・・31,256人

2035（H47）・・・・・・・・・・28,600人

2040（H52）・・・・・・・・・・25,998人

2 職員の配置基準

配置基準という明確な基準はございません。

しかし、現行の配置を基準としながら、嘉麻市を取り巻く社会状況や所管課事務量の増減を勘案し、課等の再編や配置人数の調整を行っています。

※上記のような状況の中、平成26年9月議会で部制の廃止を行いました。また、定員適正化計画において、平成39年度に正規職員を350人体制とするようにしており、行政改革の施策と連携しながら、実施していきます。

<平成27年5月1日現在> 正規職員425人、再任用職員29人

3 臨時職員および非常勤臨時職員雇用基準

雇用基準という明確な基準はございません。

しかし、現行の配置を基準としながら、所管課事務量の増減を勘案し、雇用人数の調整を行っています。

※上記のような状況の中、行政改革の施策と連携しながら、定員の適正化にむけて実施していきます。

<平成27年5月1日現在> 414人

◆将来職員数（予定）

2006（H18）・・・・・・・・・・993人（正規職員547人、再任用職員1人、嘱託・臨時職員445人）

2015（H27）・・・・・・・・・・868人（正規職員425人、再任用職員29人、嘱託・臨時職員414人）

2020（H32）・・・・・・・・・・765人（正規職員391人、再任用職員29人、嘱託・臨時職員345人）

2027（H39）・・・・・・・・・・717人（正規職員350人、再任用職員29人、嘱託・臨時職員338人）

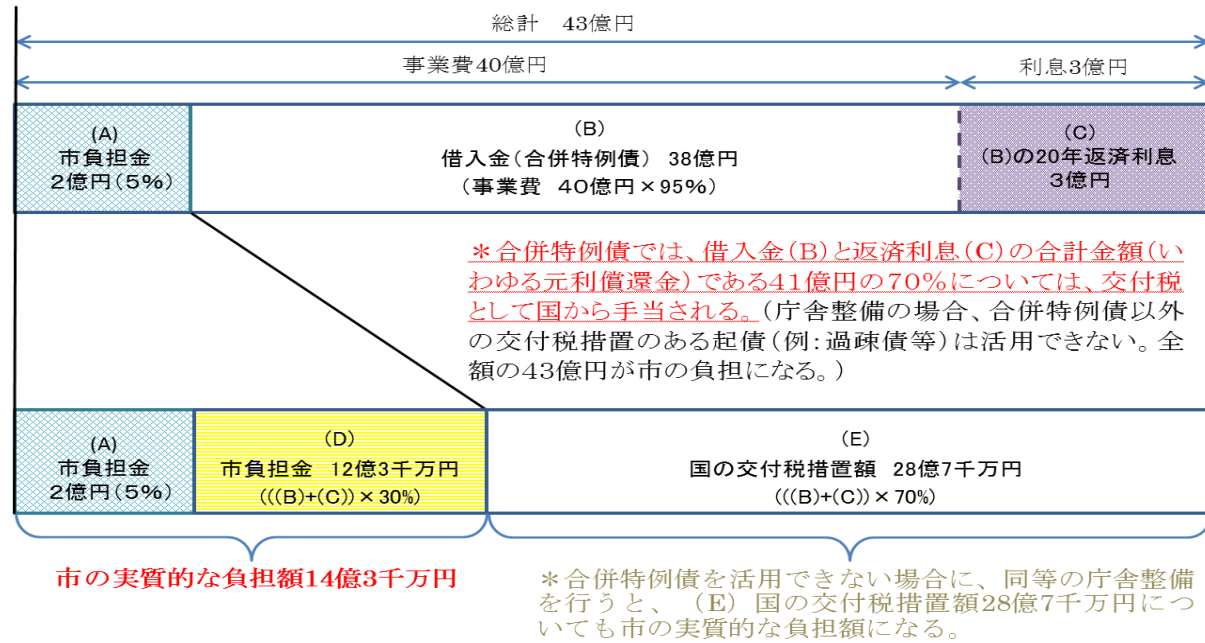
市民説明会時点と現状における事業費と財源のイメージ図比較

【市民説明会時点】(平成27年5月頃)

● 本庁舎建設

【市民説明会における新庁舎建設事業費及び財源に関するイメージ図】

◆ 庁舎建設にかかる事業費40億円(20年償還で計算、利息3億円と仮定)に対し、合併特例債が活用できた場合における市の負担額イメージ



● 支所建設、耐震補強、大規模改修、庁舎除却

市民説明会時点において、

- ・支所建設
- ・耐震補強
- ・大規模改修
- ・庁舎除却

(未検討)

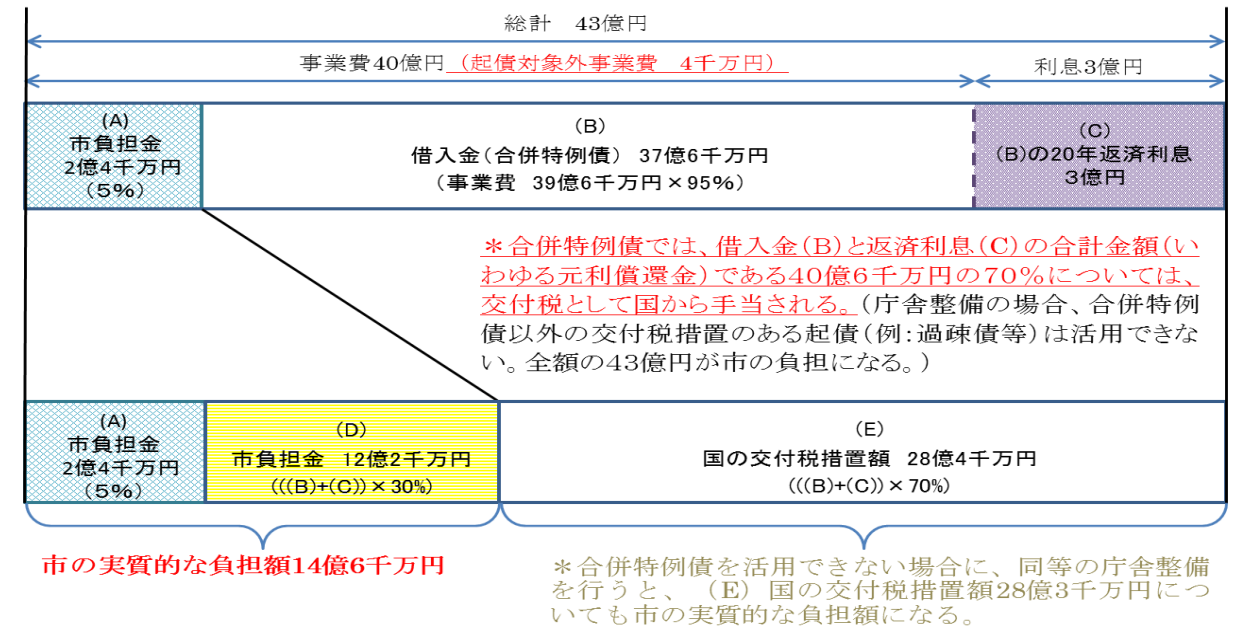
【現 状】(平成27年12月)

● 本庁舎建設

※このイメージ図は、平成27年9月に提示された、基本計画(骨子案)の20年間分の関連経費に係る全体事業(庁舎解体、支所建設、確井庁舎の耐震化、大規模改修工事等)の事業費の最大額(資料25)により作成したもの。

【基本計画(案)における新庁舎建設事業費及び財源に関するイメージ図】

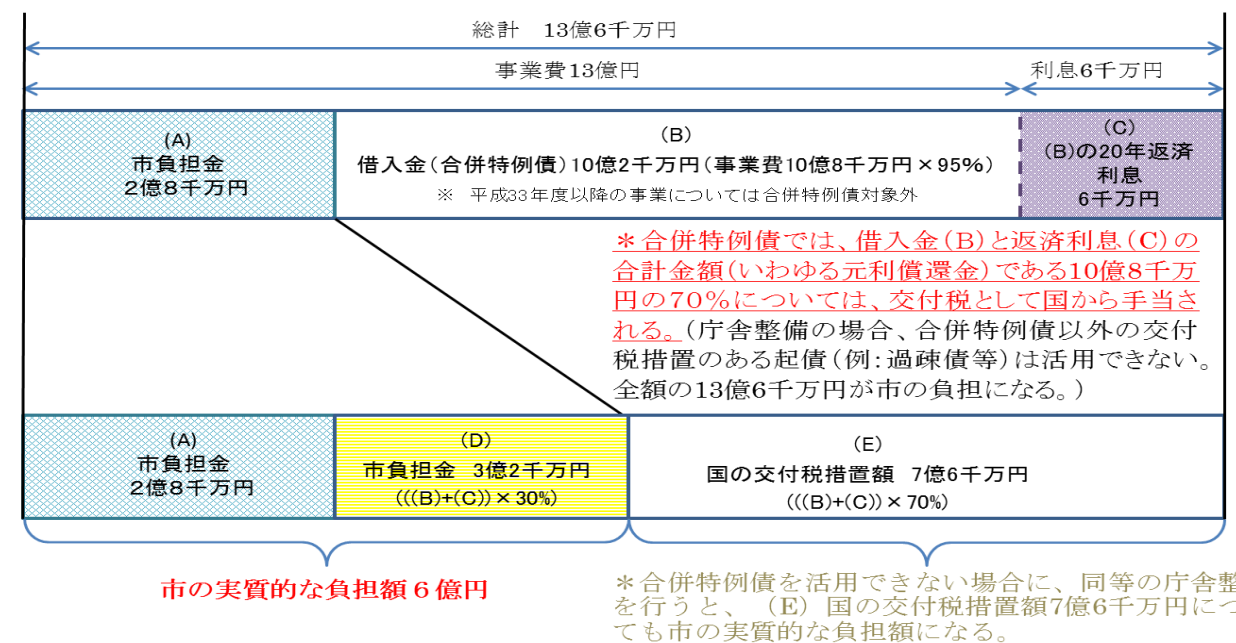
◆ 基本計画における庁舎建設事業費40億円(20年償還で計算、利息3億円)に対し、合併特例債を活用した場合における市の負担額イメージ ※借入金の利率:年利0.7%(地方公共団体金融機構直近利率)



● 支所建設、耐震補強、大規模改修、庁舎除却

【基本計画(案)における支所建設、耐震補強、大規模改修、庁舎除却事業費及び財源に関するイメージ図】

◆ 基本計画における庁舎整備に係る各支所建設3億8千万円、確井庁舎耐震補強・大規模改修4億9千万円、各庁舎の除却費4億3千万円に対し、合併特例債を活用した場合における市の負担額イメージ



平成27年9月に提示された基本計画(骨子案)の内容に基づき